

科目名	母性看護方法 I (ライフサイクル各期の看護) Maternity Nursing I	担当教員 (研究室番号)	大平 肇子 (104) 永見 桂子 (102) 岩田 朋美 (101) 市川 陽子 (105)	教員への連絡方法 (メールアドレス)	大平:motoko.oohira@mcn.ac.jp 永見:keiko.nagami@mcn.ac.jp 岩田:tomomi.iwata@mcn.ac.jp 市川:yoko.ichikawa@mcn.ac.jp						
履修年次	2年次 後期	科目区分	専門科目・生涯看護学	選択区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業形態	演習	科目等履修生	可
科目目的	女性の一生において健康を支援するために、思春期－成熟期－更年期－老年期の各ライフステージにおける母性の特性を理解する。また、リプロダクティブヘルスおよびヘルスプロモーションの視点から、各時期における対象の健康保持・増進、疾病の予防、健康への回復の過程における看護の方法を修得する。										
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。 (知識・理解)									
	関連するDP	C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探求する姿勢を身につけている。(興味・関心・意欲) F 人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する技能を身につけている。 (技能・表現)									
到達目標	1. 女性のライフサイクルの特徴を述べることができる 2. 女性の各ライフステージにおける身体的・心理的・社会的特徴を述べるができる 3. 女性の各ライフステージにおける健康課題を述べるができる 4. 女性の各ライフステージにおける看護方法について討議することができる										
成績評価方法(基準)	筆記試験(70%)、レポート課題(5%)、演習への参加(15%)、授業への参加度・取り組み(10%)										
再試験の有無と基準等	有：不合格となった者全員を有資格とする。 再試験は筆記試験とし、レポート課題の成績は再試験の評価に加味しない。										
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学1 (医学書院)										
参考書等	ウイメンズヘルスナーシング 女性のライフサイクルとナーシング 女性の生涯発達と看護 第2版(ヌーベルヒロカワ) その他、必要時紹介します。										
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	学びを深めるためには、物事に対して疑問をもち、批判的思考を養うことが必要です。時代や文化に影響されやすい女性の健康課題について、興味・関心を持って学習に取り組むことを期待しています。グループ演習では一人ひとりが自己学習をした上で、グループの1員としての自覚を持ち、主体的に参加してください。										
備考	母性看護学概論の単位認定が受講の前提となります。母性看護方法Ⅱの先修条件となります。										
回	学習項目	学習内容							主担当教員	授業方法	
1回	女性のライフサイクルにおける健康	・母性看護の対象や女性のライフサイクル各期の形態・機能の変化、健康問題と看護について、リプロダクティブヘルス/ライツおよびヘルスプロモーションの視点から学習する。 ・女性の健康とライフワークバランスについて考察する。							大平	講義	
2回	思春期・成熟期における健康課題と看護	・思春期・成熟期女性の特徴の理解をとおして、各期の健康課題について学習する。 ・思春期における第二性徴や月経異常、望まない妊娠予防など、成熟期における遺伝相談や生殖器疾患などの看護方法などについて学ぶ。							市川	講義	
3回	更年期・老年期における健康課題と看護	更年期・老年期女性の特徴の理解をとおして、更年期症状やセクシュアリティ、次世代育成に関する看護について学ぶ。							永見	講義	
4回	ライフサイクルと家族計画、受胎調節の概念	各ライフサイクルにおける家族計画と受胎調節、性感染症とその予防を学ぶ。 ライフサイクルに応じた健康教育の在り方を考える。							大平	演習	
5回	女性のライフサイクルにおける看護の実際①	女性のライフサイクルにおける支援方法のグループワーク 災害時における女性の健康管理：避難所運営ゲームを通して							大平他	演習	
6回	女性のライフサイクルにおける看護の実際②	女性のライフサイクルにおける支援方法のグループワーク 災害時における女性の健康管理：避難所運営ゲームを通して							大平他	演習	
7回	子ども虐待予防における母子への支援	子ども虐待予防のための支援について理解し、ヘルスケアにおける看護および多職種との連携について学ぶ。							大平(学外協力者)	講義	
8回	女性のリプロダクティブヘルス/ライツにおける看護 ・女性に対する暴力とヘルスケアにおける支援	・女性に対する暴力の実態を理解し、ヘルスケアにおける看護および多職種との連携について学ぶ。 ・女性の意思決定を支える看護について考察する。							大平	講義	

## 学 習 課 題

- 1回目課題(事前)：母性看護学概論で学習した月経の機序、家族計画についての復習  
2～4回目課題(事後)：提示した資料に基づき、自己学習課題に取り組むこと  
6回目課題(事後)：グループワークでの学びを中心に、母性看護学における健康課題や支援方法について考察し、レポートにまとめ、期日までに提出する。(A4、2ページ程度、両面印刷)

## 実務経験を活かした教育の取組

- ・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。